

# 議会だより りゅうおう

No.179

2017年5月1日  
滋賀県竜王町議会

歴史文化遺産を伝承

関連記事 P 18

定例会報告

厳しい財政状況 2

一般質問

財政危機に事業の見直し 10

追跡

アグリパーク前横断歩道 17

シリーズ

いきいき人生 18

3月  
定例会

# 財政状況

残高8000万円  
万円 対前年度比10.5%減

6議案、平成28年度補正予算7議案、  
2議案を原案どおり全員賛成で可決

10.5%減となった主な要因は

- ・滋賀竜王工業団地造成に係る事業がおおよそ完了したこと。
- ・国の補助金を活用した事業で平成29年度予算を前倒して平成28年度予算で対応したため。



近江うし丸

継続

竜王インター周辺  
地区整備費

2億8662万円

インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点のアクセス道路の整備等

継続

道路橋梁  
整備工事

6736万円

橋梁の長寿命化修繕工事  
町道舗装改良工事 他

隔年

ふるさと竜王夏まつり事業  
ふるさと文化振興事業

475万円

協働による町の  
活力事業への補助金

継続

公共交通施策  
検討事業

50万円

竜王町にふさわしい  
公共交通のあり方の調査・検討

度の  
な  
業

# 新風に期待

# 非常に厳しい

財政調整基金は危機的状況  
一般会計の総額55億8600

3月定例会は26日間の会期で条例  
平成29年度予算案8議案、その他

平成  
29年度  
予算

新規

魅力ある農業の  
創生推進

400万円

新規作物導入支援  
稲わら収集推進支援 他

新規

地域支え合い  
しくみづくり  
モデル事業

100万円

地域の支え合いで  
地域コミュニティの強化

継続

福祉医療費  
助成事業

1億697万円

中学校卒業までの子どもの  
医療を10月から無償化

継続

生き抜く力を育む  
学力向上事業

1277万円

小中学校における  
35人以下学級の完全実施

本年  
主事

町民1人あたりの予算

平成  
29  
年度 約45万円

町民1人あたりの決算

平成  
28  
年度 約50万円

# 員でチエツク!!

## 一般会計

### 町道改良工事

**Q** 町内全ての道について舗装の悪い道の把握をしているのか。

**A** 舗装については主要幹線を主にしている。その他は随時点検し、激しく傷んでいる箇所や地域の要望のあったところから順次応急的に舗装している。

### 魅力ある農業の創生推進事業

**Q** 魅力ある農業の創生推進事業の内、以前と違う新たな取り組みはあるのか。

**A** 新規作物導入支援と稲わら収集推進支援である。それ以外は、過去の事業名とは違うが同じ内容で取り組みをしている。

### 学校現場業務改善加速事業

**Q** 学校現場業務改善加速事業は補助事業か。

**A** 「100%国の補助事業」である。学校現場の業務改善加速事業は、アシスタントをマネジメントする必要があり、県の加配教員がそれにあたる。

### コミュニティバスの運行委託補助金

**Q** ここ数年の利用者数は。

**A** 平成27年度は月平均7042名、平成28年度は月平均6224名で年々減少している。

### 若者交電コーディネーター事業委託

**Q** 委託内容は何か。

**A** 「RSNS」の取り組みについては、コーディネーターとして民間事業者を活用し、事業運営・会議の実施、イベントの実施についてメンバーが企画立案したことを包括的に取りまとめてもらう。

### RSNSってなに？

RSNSは、リアルなソーシャルネットワークの略称なんだ。

SNSによる不特定多数とつながるバーチャルなネットワークが拡散している中、竜王町では、特定の人たちと実際に顔を合わせ、リアルなソーシャルネットワーク（社会的なつながり）を持つことができる拠点をづくりを行い、定住やUターンへの促進に繋がれるよう取り組みを行っているよ。



近江うし丸

**意見** 町の予算編成の取組において、事業費の内容を十分に把握され、細部の計画を練られた上で説明していただきたい。

### 補正予算

平成28年度一般会計補正予算（第5号）は、1億6973万9千円を減額し予算総額64億3364万2千円に改めるもので全員賛成で可決

### 支出の主なもの

- ・畜産競争力強化対策整備事業費補助金 …… 1億1898万円
- ・竜王西小学校校舎周辺沈下改修工事 …… 3500万円



畜産クラスター

## 特別会計

### 国民健康保険事業 (事業勘定)

13億4000万円 前年度比3.9%増

**ポイント** 保険給付費、共同事業拠出金等に使います。

**Q** 平成30年度以後に国保制度が都道府県化されるが、保険税率は町が決定するのか。

**A** 保険税率は、町が県の示す標準保険料率を考慮して決定する。



### 介護保険

8億6780万円 前年度比1.6%増

**ポイント** 保険給付費、地域支援事業等に使います。

**Q** 介護予防・日常生活支援総合事業が開始されたが、給付費と事業費の関係性は。

**A** 介護予防給付のうち介護予防訪問介護と介護予防通所介護は新総合事業に移行し、給付費が事業費に変更となった。



### 国民健康保険事業 医科

(施設勘定)

820万円 前年度比27.4%減

**ポイント** 指定管理料・基金積立等に使います。

**Q** 平成29年度で指定管理が終了するが平成30年度以降については指定管理者としっかり協議されたい。

**A** 十分協議し後日報告する。



### 国民健康保険 歯科

(施設勘定)

5340万円 前年度比3.7%増

**ポイント** 施設管理費、医業費等に使います。



### 後期高齢者医療

9650万円

前年度比2.9%増

**ポイント** 後期高齢者医療広域連合納付金等に使います。

**Q** 対象者は何人いるか、自己負担の1割・3割は何人か。

**A** 対象者は1441人、自己負担3割が35人、残りが1割である。

### 学校給食事業

6080万円

前年度比2.4%増

**ポイント** 給食事業、資材費等に使います。

### 下水道事業

6億8310万円 前年度比2.1%増

**ポイント** 農業集落排水事業費、公共下水道費に使います。

**Q** 使用料収入について、農業集落排水使用料は減少し公共下水道使用料は増加しているがなぜか。

**A** 農業集落排水使用料は対象地区の人口減少に伴って減少している。公共下水道使用料は対象地区の人口は減少しつつあるが、新規下水道接続が見込まれるため増加している。



## 総務産業建設常任委員会

審査

## 課設置条例の一部を改正する条例

- ・政策推進課の課名を未来創造課へ改める。
- ・工業団地推進課を建設計画課に編入する。
- ・障害福祉に関する事務を健康推進課において行う。
- ・産業建設主監の設置

## 未来創造課の仕事

- ・役場周辺にコンパクトシティを形成
- ・公共交通システムの運用方針の作成
- ・地域支え合いしくみづくりモデル事業

政策推進課

未来創造課

建設計画課に特定プロジェクト対策推進室を新たに設置

**問** 特定プロジェクト対策推進室を建設計画課に配置する目的は何か。

**答** 滋賀竜王工業団地の従業員への住宅対策を含めた住宅地確保の課題への対応を行うため。また、今後は、役場を中心としたコンパクトシティ形成に努めていきたい。

障害福祉に関する事務を福祉課から健康推進課へ分掌事務が変更

**問** 福祉課と健康推進課の業務分担と業務を担うための職員配置ができているのか。

**答** 障がいのある方の相談業務と支援業務の窓口を一本化することにより、利便性の向上を図る。

調査

## インターチェンジ周辺整備



竜王インターチェンジ周辺の写真



## 竜王インターチェンジ周辺の状況

滋賀竜王工業団地への企業進出が見込まれるなど竜王インターチェンジ周辺の機能強化は避けて通れない状況にある。

**問** 国への交渉では、滋賀竜王工業団地内に防災拠点の設置による、災害時の配送機能強化を含めた交渉ができないか。

**答** 企業誘致とセットで早急にIC改修すべきと考えている。国道8号の整備促進期成同盟のように組織して、図面もビジュアル的に素晴らしいと評価されるものを作り、6月ごろに向かって再度準備し具体的な働きかけを行う。

調査

## 町有地の利活用について

町が保有する町有地の利活用に向けて現在の取り組み状況を調査した。



## ●竜王IC北町有地の活用計画

民間への売却を行い、企業誘致による利活用を行う。

## ●須恵町有地先の利活用

子育て世代を中心とした若者の定住促進に向けて民間開発による集合住宅整備を推進し、利活用を行う。

## 教育民生常任委員会

審査

### 竜王町立幼稚園条例の一部改正

【概要】

- ・子育て支援の充実および待機児童ゼロを目指すことを目的に、平成29年度から預かり保育の対象者について、新たに3歳児を含むこと。
- ・現行の預かり保育の終了時間を30分間延長し、午後4時30分までとする。

**問** 受託者負担の公平性と公正性は。

**答** 国の基準を基に、通常保育だけを利用される方と預かり保育によりメリットを受けられる利用の方とを整理する中で「時間」と「預かる」とに着目し保育料を定めた。

**問** 3歳児の預かり保育は何人ぐらい予定しているのか。また、想定以上の希望者がある場合の対応は。

**答** 10名以内を想定。これを上回る場合は、低年齢児には丁寧な対応が必要のため、子どもたちの安全を担保できる職員配置を考へていく。



3歳児の預かり保育(イメージ写真)

調査

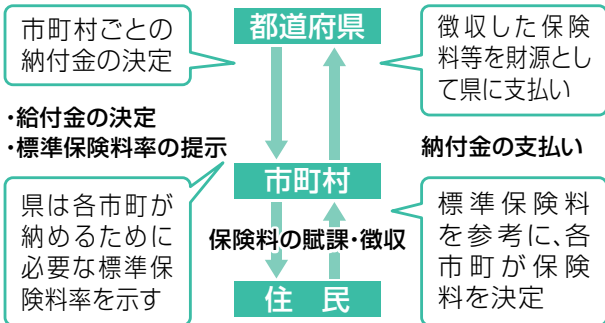
### 国保制度改革(平成30年度から)

都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図るために行われる。

**問** 県内各市町の保険料率を統一すると新聞報道であったが、その場合、当町は安くなるのか、高くなるのか。

**答** 平成36年度以降に統一したいと県は言っているが、決定しているものではない。統一された場合は、当町は医療費も所得額も高いので税は上がると予想している。

#### 国保保険料の賦課、徴収の仕組み(イメージ)



栃木市議会 研修の様子

2月8日  
栃木県栃木市議会  
2月9日  
福岡県筑後市議会

視察研修の受け入れ

紙面の充実を目指し、177号より新たに「追跡コーナー」を設けました。また、編集技術向上のために「議会だより編集マニュアル」を作成しました。

広報特別委員会

## 地域活性化特別委員会

## 人口減少対策特別委員会

調査

### 滋賀竜王工業団地との基本協定等

滋賀県土地開発公社と立地企業が土地売買契約を締結し、町と立地企業が基本協定と環境保全協定の締結をした。

**問** 企業の工業団地への進入路は。

**答** 企業は国道477号を通ることとし、集落内の生活道路は利用しない。

調査

### (株)雪国まいたけに関する事業経過報告 (株)雪国まいたけからの報告

当初計画では、土地を4分割し、売却することとしていたが、4分割での売却は面積が大きく、買手の企業にとっては条件が厳しいため、9分割することとした。現在、2社と契約済みで4社は検討中である。

**問** 9社からなる工業団地となるが、協議会組織は設置するのか。

**答** 協議会組織を設置し、当社が窓口となり主導的に対応していく。

調査

### 転入・転出の推移と理由

平成19年から転入者を転出者が上回り、最高時に比べ平成27年度では1273人が減少。年間平均141名となっている。

転出の要因として「仕事の都合」が最も多く、ついで「独立（結婚・一人暮らし）」と「住宅購入賃貸住宅への借り換え」となっている。

**問** 若者が転出する理由が地域の習慣が嫌だと聞くと、対策は。

**答** 生活改善をしないといけない。そのような若者の意見を取り上げ各自治会で話し合いをする必要がある。



山面地先の  
(株)雪国まいたけ所有地

## 議会懇談会

就学前教育や学校教育を通して

平成29年1月21日 竜王町公民館

## 子育て・教育をみんなでかんがえよう



懇談会の様子

### 主な意見

#### 保育園・幼稚園分科会

安全で安心して子ども達が学べる学校・園づくり  
に保護者の皆さんと分科会方式による懇談会を開催。

・共働きのため、子どもの体調不調による急な呼び出しに、病児保育を期待。

・スポーツ少年団にある種目は中学校の部活にないのは何故。

・一時預かりしてもらえ  
る場所や幼稚園で託児  
ボランティアがあれば  
便利。

・保育園・学童保育の送迎時間が重なるため、駐車場が狭く、周辺に迷惑を掛けている。

・子どもが少なくなってくれば、小学校を一つに統合することも検討する必要がある。

・通学園の距離が3キロ以上はバス通学にしてほしい。

#### 小学校・中学校分科会

・通学下校時の見守り隊やスクールガードによる抑止力効果は出ている。

・中学校の土曜塾（雲竜塾・昇竜塾）を1年生からできないのか。

・学校にいくつかの洋式トイレがあるが、まだ不足しているので改善してほしい。

・通学道路の危険箇所の改善について協議・検討を要望。

・学校の教育目標を理解し、学校支援に携わることができないのか。



# 町政

## ここを聞こう!

3月定例会は10議員が  
17問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
10	山田 義明	行財政改革の早急な取り組みを
	岡山 富男	子どものスポーツ支援を
11	小西 久次	住宅施策は
		学校施設のトイレ改修は
		保育園・学童保育所の今後の計画は
12	森山 敏夫	地域防災情報システムは
		安心の移動支援サービス(公共交通網の整備)は
13	貴多 正幸	ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品およびPCB廃棄物の期限内処理は
		竜王小学校の今後は
14	内山 英作	地域コミュニティ計画の策定は
		アウトレット周辺を活用した特産品の発信と販売強化
		婚活支援の取り組みは
15	古株 克彦	道路整備構想は
	若井 猛志	学校給食費の保護者負担の軽減を
16	森島 芳男	雪野山ハイキングコースの整備を
		獣害対策を
17	松浦 博	道の駅の更なる地域経済活性化への期待

### 一般質問って?

町の行政全般について  
議員が町長をはじめとして  
担当部局に疑問点を質したり、  
見解などを尋ねたりするもので、  
毎定例会で行われるよ



近江うし丸

そうだ 傍聴に行ってみよう!

次回の一般質問は6月を予定

議会事務局 ☎ 58-3713

## 問 行財政改革の早急な取り組みを

答 中長期的な視点で各事業を見直す検討を始めた



山田 義明 議員

**答** 平成29年度当初予算編成にあたっては、経常経費に充当する一般財源において対前年度10%カットを目標に編成した。  
町長からは中長期的に抜本的なアクションがとれるよう事業の見直しの指示があり、各事業において検討を始

**問** 町財政の危機的状態が続く中で、行財政改革の早急な取り組みを行わないのか。



行政情報クラウドシステム

めた。  
行政改革では、県内6町行政情報クラウドシステムの実施、上下水道料金等に係る民間事業者への民間委託を行っている。  
本町が保有する公共施設等の全体状況を把握し、施設等を取り巻く現況および将来の見通しを踏まえ、公共施設等の管理に関する基本方針等を定めた公共施設等総合管理計画を今年度中に策定することとしている。  
これらによる、さらなる業務改革の推進で、捻出された人材を必要とする分野に集中させ、より効率的で効果的な行政運営をめざし取り組みを行う。

## 問 子どものスポーツ支援を

答 活動支援を維持継続していく



岡山 富男 議員

ドラゴンズスポーツクラブ▶  
(ジュニアバレーボール)



**問** スポーツ少年団やドラゴンズスポーツクラブの活動から多くのプロ選手も竜王町から出ており、憧れと夢を持ってスポーツに取り組んでいる子どもたちもいる。その支援を今まで以上に行政としてできないか伺う。



スポーツ少年団 (野球)

**答** 8年後に、滋賀県で開催される国体(国民体育大会)に、竜王町の子どもたちから滋賀県代表として出場され、全国に通用するアスリートがうまれてくれることを期待するもので、今後子どもたちのスポーツに対しての支援を引き続き継続していく。



小西 久次 議員

## 問 住宅施策は

### 答 民間開発による住宅整備を推進



開発を待つ小口市街化区域

**問** ①集合住宅の整備見込みと町の予算は。②小口町有地周辺が工業地にも住宅地としても適地であると思うが、町の考えは。

**答** ①整備手法として開発に伴う諸課題の整備に向けた支援を行い、民間開発による住宅整備を考える。インフラ整備等については、町有地の売却により財源を確保する。  
②住宅開発の可能性は十分あると考えており、インフラ整備等を優先的に実施する。

## 問 学校施設の

### トイレ改修は

#### 答 竜王西小学校は

#### 4基の洋式便器化



洋式化を待つトイレ

**問** 竜王西小学校トイレ・竜王小学校低学年トイレは、和式トイレが大半で洋式化についての要望があるが町の考えは。

**答** 竜王西小学校トイレは、地盤沈下調査により、勾配の不良と詰まりから汚水が滞留し、においが発生していることが判明した。下水道管改修を行うことで、においの解消が図れると考えている。また、同時に一部便器の洋式化を図る。

竜王小学校については、低学年棟トイレの配管清掃により、トイレの詰まりとにおいが解消された。  
また、平成24年度の工事において、災害時の避難場所を想定して、トイレの改修を行った。

## 問 保育園・学童保育所の今後の計画は

### 答 学童保育所は平成29年度内を目処に検討



平成24年度に整備された竜王小学校区学童保育所「まつぼっくり」

**問** ①今後、学童保育所利用者の増加が予測され、施設の不足等が生じるのでは。②ひまわり保育園舎の施設検討は。

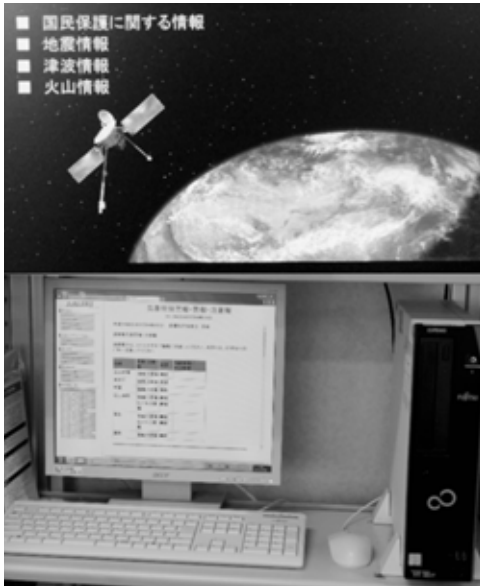
**答** ①まつぼっくり児童クラブは、平成29年4月1日入所見込みは76名であり、開所以来最高の在籍人数となる予定。当面の間は70名から80名の在籍児童数になると見込んでいる。平成29年度を目処に小学校の空き教室利用を含めた施設整備の必要性を検討する。  
②保育園の運営者からは築40年を目処に建て替えを検討していると聞いている。

## 問 地域防災情報システムは

答 平成32年度までに  
新たなシステムの完成を目指す



森山 敏夫 議員



地域防災情報システム（イメージ写真）

**問** 地域防災情報システムは、ようやく公に計画が開示され動き出したようだが、災害時等緊急情報の伝達手段の確保を最重要課題と位置づけているのであれば、もっと計画を前倒しすべき。本件に関しては、各目標到達の内容と期日を明確にすると共に迅速な行動力も求められる。費用面・運用面で解決すべき課題を明確にした上で回答をお願いしたい。

**答** 平成26年度より調査検討を開始した新システムは現在とりまとの段階。平成29年度上半期までに方向性を出し、構想設計に着手する。平成30年度には、整備内容を精査し実施設計を行った上で平成31年度から平成32年度までの2年間で竜王町地域防災情報システムの完成を目指す。完成に向け課題は山積しているが、災害時において住民へきめ細やかに情報伝達ができるシステム構築に努めている。

## 問 安心の移動支援サービス（公共交通網の整備）は

答 平成31年度には実施に向けた調整を行う

### 住民の声

私は免許を取得して60余年、運転には自信がありますが、加齢とともに視力が低下し、本年中に免許証返納を決意しました。

竜王町に住んでいる限り、生活手段としての公共交通の確立を一日も早く心よりお願いいたします。



**問** 高齢化社会の課題の一つとして、高齢者ドライバーによる交通事故が社会問題になっている。国は一部道交法を改正し、更に免許証の自主返納を促しているが、公共交通網が整備されていない本町では、免許証を自主返納できない環境にあり、問題の根本的な解決は期待できない。そこで巡回バスの運用を提案したい。

本件に関する町の見解を伺う。

**答** 今後、更に高齢化が進む中で移動手段の確保は重要な課題であると認識している。その上で、本件に関しては、現状の問題点の洗い出し、町民の公共交通に対する意識、ニーズ等の把握、分析を改めて実施する必要がある。平成29年度前半に協議会を立ち上げ、平成30年度に運用方針の作成、関係機関との調整、財源確保に努め、平成31年度には実施に向けた調整を行いたい。



貴多 正幸 議員

# 問 ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品 およびPCB廃棄物の期限内処理は

## 答 計画的に処理していく

**答** 本町の公共施設におけるPCBを含む製品または廃棄物への対応は、平成28年度、高濃度PCBを含む

**問** 環境省が定めている高濃度PCB廃棄物の処分期限が近づいているが、町内の公共施設におけるPCB使用安定器等を使った照明器具、変圧器の現状について把握をされているのか伺う。町内企業へはどのように対応されるのか伺う。



高圧コンデンサー

高圧コンデンサーを1台処分した。今後、処分を予定している廃棄物は、低濃度PCBを含む高圧変圧器3台があり、指定された期限内である平成38年度末までに計画的に処分していきたいと考えている。

町内企業への対応については、今後もさらに滋賀県と連携しホームページおよび広報等により周知に努めるとともに、関係課とも連携して期限内の適正処理について働きかけていく。

# 問 竜王小学校の今後は

## 答 「教育施設のあり方検討委員会」

### を立ち上げ検討

**問** 平成29年度竜王町行政執行方針に、役場周辺に学校や病院、商業施設、住宅地などを集約化と記述してあるが、改築が目前に迫る竜王小学校の今後についてどのように考えているのかについて伺う。

**答** 竜王小学校前の道路事情や学校施設として活用可能な敷地面積や小学校向かいにある竜王幼稚園の今後のあり方についても考慮していかなければならない。また、学校は防災および地域コミュニティの拠点であること、さらには将来の適正な学校規模も考慮していかなくてはならないと考えている。以上のことから、立地条件や立

地場所も考慮に入れるとともに、町が示す役場周辺をコンパクトシティ化することも踏まえ、平成29年度の早い時期に教育委員会を中心に「教育施設のあり方検討委員会」を立ち上げ、竜王小学校の今後の方向性について結論を出していきたい。



昭和46年度に竣工した竜王小学校

## 問 地域コミュニティ計画の策定は

### 答 地域支え合いしくみづくり モデル事業を実施



内山 英作 議員

**答** 平成29年度に地域支え合いしくみづくりモデル事業を実施する。この事業では、モデル自治会を設定し、5年後を見据えた地域の課題を把握し、地域の支え合いで解決できる持続可能な仕組みづくりを検討するとともに課題解決につながる方策を確立したいと考えている。



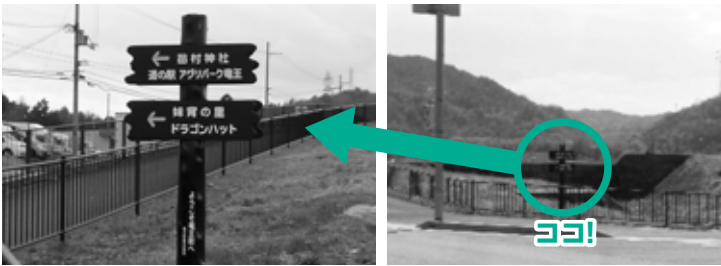
弓削コミュニティ計画  
冊子の表紙

**問** 計画づくりに関わって、地域の未来についてお互い語り合うことができた。また、自治会活動のあり方、地域の活性化に向けて区民の皆さんに関心を持ってもらった。  
竜王町の今後の取り組みはどうか。

**答** ①販売所設置については、車で10分程度の場所に、道の駅竜王かがみの里と道の駅アグリパーク竜王がそれぞれ立地している。当面、新たな販売所の設置は考えていない。  
②地方創生推進交付金を活用し、アウトレットか

**問** アウトレットには関西・東海・北陸方面から多くの来場者がある。そこで、次の点を聞く。  
①近辺に販売所を設置して、農産物を販売する考えはどうか。  
②アウトレットに来場する外国人観光客を町内施設に呼び込む施策はあるのか。

ら道の駅をはじめとする町内各施設への周遊バスの運行実証実験などを検討している。



アウトレット付近にある案内標示

## 問 アウトレット周辺を 活用した特産品の 発信と販売強化

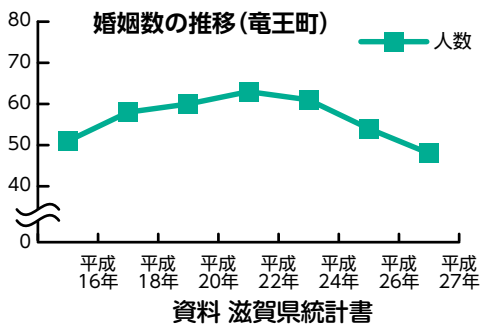
### 答 周遊バスの 運行実証実験を検討

## 問 婚活支援の 取り組みは

### 答 効果的な支援を 行っていく

**問** 近年、結婚年齢が年々上昇(晩婚化)しており、このことが少子化の一因にもなっている。  
そこで、竜王町の今までと第五次竜王町総合計画(後期基本計画)での婚活支援の取り組みはどうか。

**答** 平成15年度から町内の青年に配偶者を仲介する「ドリームプロジェクト竜王」を実施してきた。また、平成27年度には、地域おこし協力隊を中心に竜王町縁むすびプロジェクトとして、婚活イベントが開催された。  
平成29年度、婚活支援事業を3市2町で開催する中で、今後については広域的な取り組みも視野に入れながら、これまでの取り組みとも連携しながら、効果的な支援を実施していく。





古株 克彦 議員

## 問 道路整備構想は

### 答 継続的な要望活動を実施

**問** 第五次竜王町総合計画の中の土地利用構想でまちづくりの軸として、主要幹線道路の構想が掲げられている。

第三次・第四次の総合計画を引き継いだものもあり、その当時の経済状況・財政状況とでは明らかな乖離が見受けられる。実現可能な道路構想・整備についての考えは。

**答** 国土幹線軸である名神高速道路および、国道8号ならびに広域連携軸である国道477号などは、町の広域的ネットワークの基軸であり、これらの機能を最大限に活用し、産業拠点の交通の利便性を高め、円滑な交通環境と災害に強い道路網を確保していくことが重要と考えている。具体的には、「国道8号（東近江区間）整備促進期成同盟会」および「野洲・湖南・竜王総合調整協議会」において、県に対し要望活動を行っているところであり、社会情勢を見据えつつ粘り強く、道路整備の必要性を訴えていく。



町道東西線

## 問 学校給食費の保護者負担の軽減を

### 答 財政状況から無償化は困難



若井 猛志 議員

**問** 町では、若い世代の定住・子育て支援の充実を掲げているが、義務教育費の負担が重い。そこで学校給食費の保護者負担の軽減はできないのか。多子世帯の負担額は、いくらなのか。学校給食を教育の環境として捉えているのか。



**答** 学校給食費の無償化は、財政状況を鑑みると困難と考える。引き続き保護者負担をお願いしたい。多子世帯の負担額は、年間12万8200円である。学校給食は、「食育」（食教育）と捉えている。今後とも、栄養バランスのとれた給食を提供することで、子どもたちの健全な成長の一助になるように努める。



たのしい学校給食

# 問 雪野山ハイキングコースの整備を



森島 芳男 議員

## 答 今後の検討課題



荒廃した雪野山登山道

**問** 標高3088mの雪野山は、四季折々の風光が楽しめる所である。ハイキングコースを訪れる方も年々増加している。数年前までは地元老人クラブにより登山道はきれいに整備されていたが、最近では徐々に荒れてきています。多くの方々に自然豊かな竜王町に来てもらえるようまちづくりの一つとして整備できないか伺う。

**答** 雪野山ハイキングコースは、平成21年度から25年度まで緊急雇用創出特別推進事業を活用する中で、業務委託し周辺の雑木の代採や下草刈りなどを実施した。しかしながら、補助事業が終了したため、平成26年度以降は地元老人クラブによる清掃作業のみとなっている状況である。町の魅力アップのため利用者の安全確保を第一に考え、整備については、今後の検討課題として対応していく。

# 問 獣害対策を

## 答 農家・自治会・町が一体となって取り組む

**問** 今年は、雪の多い年であった。一面が雪でおおわれていたため、イノシシなどが食べる物がなくて、里の方にまで出てきていますと聞いている。柵等の対策はあるが、現状では充分とは言えない。今後どのように対策するのか伺う。

治会、町が一体となって取り組むことが重要であると考える。

**答** 本町においては国の補助事業を活用した獣害防止柵の設置を平成20年度から始め、今年度設置分を含め総延長で約22kmの設置を行い、イノシシを中心とした獣害への被害防止に取り組んできた。今後の対策は、設置した獣害防止柵の管理を適正に行うこと、イノシシ等が身を潜める草木が生い茂った場所を適正に管理すること等、農家、自



イノシシに荒らされた穴だらけの堤防





松浦 博 議員

## 問 道の駅の更なる 地域経済活性化への期待

答 施設のあり方を  
検討する必要があると認識

**問** ① 竜王町まるごとスキヤキプロジェクトの進捗状況は。  
② 道の駅の管理運営面の独立は。  
③ 竜王かがみの里の進入路・駐車場の整備は。  
④ 「モデル道の駅」への事業拡充に向けた構想は。  
⑤ 魅力ある農業創生事業の新設への転換は。

**答** ① みらいパーク竜王と業務委託契約を締結、事業推進のため生産者、企業、有識者、行政で組織するプロジェクト推進協議会を立ち上げた。イベントなどで竜王町のPRや特産品開発などの事業を展開している。  
② 竜王かがみの里は3年以内、アグリパーク竜王は5年以内にひとり立ちする。  
③ かがみの里への進入路、駐車場、施設の整備は平成29年度から調整に入り、用地交渉、設計・工事施工、農産物加工場の新設は平

成31年度からの計画となっており努力していく。  
④ モノの消費だけではなく滞在し、様々な体験メニューにより楽しめる道の駅を目指す。  
⑤ 新たなブランド農産物による竜王町のPRを行う。産地競争に勝てる農産物の創出と農家の複合経営化による所得の向上を目指す。



竜王かがみの里  
駐車場の様子

年間を通して町内外から多くの来場者で賑わい、平成27年度には、アグリパーク竜王と共に「重点道の駅」に選ばれた。



追跡!!

## あの一般質問は その後どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

アグリパーク竜王周辺の国道に  
歩道・横断歩道の設置を!

(平成28年第1回定例会 一般質問より)

**問** 道の駅アグリパーク竜王に隣接する国道477号は車の往来も激しく、道路には横断歩道もなく、また、農林公園の東西を結ぶ歩道も出ていない。

地元や来客者の安全を確保するため早急に設置できないか。

**答** 横断歩道は滋賀県公安委員会に、歩道は県のアクションプログラム2013に歩道事業化検討路線として位置づけられていて強く要望している。

◎その後

横断歩道は、道路の勾配の都合により、交差点から少し離れた場所に平成29年3月に設置された。歩道については早期設置を陳情している。



3月に設置された横断歩道

## 「能面」に魅せられて

世界中にはその国独特の「仮面」があり、その仮面の中でも、最も美術性に優れていると言われてるのが日本の「能面」で、伝統芸能「能」で使用されます。「能面」は木彫4几、彩色豊かに作られ、能舞で使われる「面(おもて)」です。

そんな「能面」の実物に出会ったのは、定年退職後の過ごし方や趣味を模索していた頃、偶然見学に立ち寄った「能面作り」教室でした。自分にはこのような「能面」を作るのは到底無理と思いつつ、多少興味もあり退職した翌月から習い始めまし

た。最初の「能面」が出来上がり、その出来栄に感動したのを覚えています。自分がやりたかった趣味はこれだ!と確信、そのうちに「能面」の持つ幽玄さ、何とも言えない魅力と奥深さに魅せられてしまいました。



毎年開催する「能面作品展」や全国規模での「能面美術公募展」に出展するようになり、別世界の「能」を演じられる能楽師の方々、各地で活躍される能面師、制作仲間も多くなり、そんな方々に支えられ日々楽しく制作しております。長く趣味として「能面作り」が出来ているのは、こうした素晴らしい方たちのお陰と感謝しております。



発行・竜王町議会  
編集・議会広報特別委員会

表紙

### 鏡の里元服式

鎌倉時代東山道として栄えた鏡の宿(竜王町鏡)は、牛若丸が鞍馬山から源氏の再興を願って奥州下向の途中に元服し、源九郎義経と名乗った源義経元服の地といわれています。今も鏡周辺には源義経が元服した源義経元服池や武運長久を祈願した鏡神社、義経が宿泊した白木屋跡などの史跡が残っています。

例年3月には、鏡神社と道の駅竜王かがみの里において義経元服を再現した鏡の里元服式が行われています。町内外からの参加者は、男性は源義経のような直垂装束、女性は静御前のような水干装束に身をつんで古式ゆかしく「髪上加冠の儀」に臨みます。その後、静御前が舞ったと言われる今様舞楽の鑑賞が行われるなど、元服式を通して参加者の新たな門出をお祝いされています。

### 編集後記

新緑がひとときわ深まる季節となりました。

長年の懸案でありました滋賀竜王工業団地造成工事が終わり、7区画の内、1区画を東洋電機製造株式会社が取得され3月1日に起工式が行われました。

議会では、西田町長体制での初めての新年度予算が成立し、

議会としてもチェック機能を果たしてまいります。今後も、町民の皆さまのご理解を賜りますようによりしくお願いいたします。

#### 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 森山 敏夫 |
| 副委員長 | 森島 芳男 |
| 委員   | 内山 英作 |
| 委員   | 松浦 博  |
| 委員   | 山田 義明 |
| 委員   | 岡山 富男 |

〒5200-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3  
☎(0748)58-3713



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています